

令和8年 第2回

京田辺市議会定例会  
一般質問通告書

京田辺市議会

# 令和8年 第2回 京田辺市議会定例会 一般質問通告書 目次

通告順位	議員名	ページ
1	早川由紀夫 . . . . .	1
2	岡本亮一 . . . . .	3
3	榎本昂輔 . . . . .	5
4	菊川和滋 . . . . .	7
5	青木綱次郎 . . . . .	9
6	次田典子 . . . . .	11
7	増富理津子 . . . . .	13
8	向川弘 . . . . .	15
9	南部登志子 . . . . .	18
10	吉高裕佳子 . . . . .	20
11	国重昂平 . . . . .	23
12	河田美穂 . . . . .	25
13	有田幸平 . . . . .	27

**1 出産支援及び産前・産後サポートについて**

市内の医療機関・産婦人科においては、出産・分べん施設がない状況に至っている。ついては、出産支援及び本市の産前・産後サポートや相談対応などにおける健診から出産までの医療機関等との連携支援の取り組みや今後の施策を問う。

- (1) 本市の出産施設及び出生数の推移、市民からの要望などを問う。
- (2) 本市の産前・産後サポートの状況、出産施設などの相談対応や医療機関の確保・連携など健診から出産までの支援を問う。
- (3) 分べん空白地となった現在、出産支援体制の整備や今後の取組方策を問う。

**2 観光振興ビジョンの推進について**

本市内の観光・歴史資源に加えて、「甘南備山展望テラス」の設置や民間事業者による「ウッドデザインパーク京都一彩一」が開業するなど、観光振興の機運が高まっているところ、本年3月策定の第2次産業振興ビジョン・アクションプランにおける今後の施策を問う。

- (1) 観光推進体制の強化のため、組織・人材育成や関係機関の連携をどのように進めるのかを問う。
- (2) 観光資源の磨き上げや受入環境のリニューアル、観光プロモーションとともに、点から線への観光展開による滞在時間の増加や消費拡大が求められているが、これからの取り組みを問う。
- (3) 新たな機軸として、PR大使との連携、体験型観光への拡充などが考えられるが、その施策を問う。

### 3 公共交通（路線バス）に係る施策について

本市内の路線バスは、一部路線の廃止・減便が続いているところ、事業者は、来年3月下旬を目途に枚方市や八幡市から本市に至るエリアで大規模な路線廃止を含む再編計画を掲げている。本市の対応や取組状況及び今後の施策を問う。

- (1) 今後の路線バスの廃止・減便などの再編計画の内容について、本市としてどのように認識しているのかを問う。
- (2) 本市は「地域公共交通計画」を本年5月に策定したところであるが、路線バスの維持又は代替交通の確保などの取組みにおいて、将来像に向けてどのように施策を進めるのかを問う。
- (3) 路線バス等の停留所の設置について、鉄道駅や公共・商業施設、医療機関、工業団地など多くの市民の利用と利便性の確保を踏まえた方策を問う。

### 4 学校行事や校外活動、部活動の安全確保について

全国的に学校行事や校外活動、部活動における事件・事故が続いており、学校側の安全確認体制の見直しや危機管理マニュアルの不備などが取り上げられているところ、本市の学校におけるこれまでの対応及び今後の取組みを問う。

- (1) 学校行事や校外活動（修学旅行や遠足など）、部活動（学外活動など）における事故等の発生・対応状況を問う。
- (2) 学校側の危機管理マニュアルの作成、安全配慮義務や引率責任などを踏まえた安全確保の見直し等の実施状況を問う。
- (3) 学校部活動の地域移行推進における安全管理の取組みを問う。

**1 中東情勢によるナフサ不足等が市内中小事業者へ及ぼす影響と本市の支援策について**

中東情勢の緊迫化により、石油化学製品の主要原料であるナフサの供給が不足し、エネルギー価格や物価の高騰、さらには物資の入手困難など、市民生活及び事業活動の各分野に深刻な影響が生じている。

については、以下の点について問う。

- (1) 燃油及び各種資材の価格高騰や供給不足により、中小事業者が経営危機に直面していると考えるが、本市としての現状認識と対応策について問う。
- (2) コロナ禍において実施された持続化給付金や家賃支援給付金のような直接的支援策について、現下の状況を踏まえ、国に対して実施を求めるべきと考えるが、本市の見解を問う。
- (3) 市内中小事業者の現状及び、影響の実態を把握するための調査を実施するとともに、影響を受けている事業者の事業継続を支援するため、本市独自の直接支援策を講ずるべきと考えるが、本市の方針を問う。

**2 普賢寺小学校区における留守家庭児童の安全・安心な居場所づくりについて**

- (1) 普賢寺児童館の過密化や安全確保の課題に対し、利用児童数の増加に伴う職員体制やスペース確保、さらに長期休暇中の受入体制の強化をどのように進めていくのかを問う。
- (2) 放課後ひろば事業における児童の安全確保や、幼稚園ホール併用による幼稚園児と児童の混在状況の改善について、どのように対応していくのかを問う。

- (3) 普賢寺小学校区での留守家庭児童会（学童保育）設置について、市街化調整区域での設置可能性や既存施設（小学校・児童館）の活用を踏まえ、今後どのように進めていくのかを問う。

### **3 三山木駅周辺の駐輪場整備と今後の市の方針について**

- (1) 2026年6月1日、三山木駅周辺の駐輪場で利用者増加に伴う飽和状態が発生している状況を解消するため、新たに「近鉄三山木駅南駐輪場」が開設された。その概要及び、現在の利用状況について問う。
- (2) 近鉄三山木駅前駐輪場及び、JR三山木駅北駐輪場では、これまで継続して待機者が発生していたが、その後の利用状況にどのような変化が見られたのかを問う。
- (3) 京田辺市内の駅周辺には、有料駐輪場と無料駐輪場が混在しているが、本市の整備方針を問う。

**1 同志社国際高校の研修旅行で発生した辺野古沖転覆事故について**

(1) 2026年3月16日、沖縄県名護市辺野古沖で研修旅行中だった同志社国際高校の生徒らを乗せた小型船2隻が転覆する事故が発生し、女子高校生1名と船長1名がお亡くなりになり、生徒12人を含む14人が重軽傷を負う惨事となった。

この事故は、本市にゆかりのある生徒が関係する重大事故であり、多くの市民や保護者にも大きな衝撃と不安を与えている。本市として、この事故をどのように受け止めているのか、市長及び教育長の見解を問う。

(2) 事故発生後、学校法人や府、関係機関と市はどのように連携を行っているのか、市として情報共有や支援要請は受けているのか問う。

**2 本市の中学校の金融教育について**

(1) 近年、キャッシュレス決済や投資教育、SNS型投資詐欺など、子どもたちを取り巻く金融環境は大きく変化している。

こうした状況を踏まえ、本市教育委員会として「中学生に必要な金融リテラシー」をどのように認識しているのか問う。

(2) 本市の中学校において、金融教育をどの教科・単元で実施し、年間でどの程度の授業時間を確保しているのか、学校ごとの差異はあるのかについて問う。

(3) 新NISAの開始などにより、若年層でも資産形成への関心が高まっている。一方で、投資と投機の違いや、SNS等による誤情報への対応も重要。

本市として投資教育をどのように位置づけているのか、市の考えを問う。

### 3 山手南地区の小学校建設予定地について

(1) 毎年、近隣住民から当該土地に立木する針葉樹の花粉による苦情がきている。現在地権者とどのように連携しているのか、そして近隣住民の花粉対策をどのように行っていくのか、市の考えを問う。

(2) 2014年の9月定例会の一般質問にて山手南地区の小学校建設予定地について、市は、将来的に不確定要素がある中で小学校予定地として位置付けていると答弁された。当該予定地が周辺に与えている悪影響にも配慮する必要があるが、今後の小学校建設予定地の活用について、市の考えを問う。

### 4 大住中学校区の通学路の防犯カメラの設置について

今年度から大住中学校で自転車通学がはじまり、自転車を通う学生が増えた一方で、安全対策がより重要となっており、保護者からも幹線道路において「朝の通学時は特に交通量が多い」、「万が一、事故が発生した際に防犯カメラがほしい」といった声をいただいている。

近年、防犯カメラは犯罪抑止だけでなく、事故発生時の状況確認・不審者対策・通学路の安全管理といった観点でも重要性が高まっており、特に中学生が利用する幹線道路沿いについては、防犯カメラの設置を強化すべきと考えるが、本市の見解を問う。

**1 共創社会への取組みについて**

令和8年度施政方針において、市長は「市民・市内事業者をはじめ、市外の関係人口を含めて、京田辺に関わる全ての人々との協働・共創によって、本市の目指す都市像緑豊かで健康な文化田園都市の実現に向けて、京田辺の未来を見据えたまちづくりを推進する」ことを基本認識として捉え、各種施策を推進されるとのことであるが、協働・共創を推進していくため、市と市民が一体となって取組むスキームづくりや、そのために必要とする人材育成について、どのような取組みを展開されようとしているのかを問う。

**2 市立図書館運営について**

- (1) 移動図書館「かんなび号」の更新について、教育委員会の認識を問う。
- (2) 図書館事業において、現在の指標については主に貸出冊数となっており、貸出冊数の制限がない本市では、この指標を追いかけることが真に市民サービスとなっているのか疑問を持っている。図書館事業における指標の在り方について問う。

**3 JR松井山手駅近辺における各種施設の在り方について**

- (1) 現行の子育て支援センター移転後のスペースの活用について問う。
- (2) 人口増加にある北部地域に、居場所としての施設をどのように活用していくのか問う。

#### 4 たなモビの実証事業について

- (1) 改めて、昨年度実施された「たなモビ」の評価を問う。
- (2) 現時点におけるバス事業者の課題と、その動向について問う。
- (3) 令和8年度の「たなモビ」実証事業について、市の検討状況を問う。

#### 5 庁内窓口業務の在り方について

庁内窓口業務における受付時刻の変更について問う。

#### 6 地元の課題について

J R 松井山手駅前の歩道等の改修について問う。

**1 中央図書館の運営について**

- (1) 26年度に「図書館の運営手法検討に係るサウンディング調査」を実施する方針が示されているが、同調査の目的、内容、対象、予算などについて、明らかにされたい。
- (2) 市立図書館のあり方及びその運営については、幅広い市民、利用者の意見を聞いて検討を進めるべきだが、市の考えを問う。
- (3) 中央図書館及び北部と中部の分室も含めて、その運営は市が直接、責任をもち、職員の確保、育成をすすめるために、市直営を堅持すべきと考えるが、市の見解を明らかにされたい。

**2 学校開放事業における体育館使用の有料化について**

26年6月より学校開放事業における体育館使用が、空調設備導入を理由に、その使用の有無にかかわらず一律、使用料が必要になり、有料化された。

- (1) 今回の有料化について、利用団体の受けとめ、理解について、市はどのように把握されているのか。
- (2) 市民のスポーツ活動の推進、普及という点から、「一律有料化」は改めるべきと考えるが、市の見解を明らかにされたい。

### 3 地域要求について

(1) 松井山手東線の安全対策について。

諏訪ヶ原公園西端から松井地域方面へ伸びる松井山手東線は、カーブも多く見通しが良くない。その安全対策が必要と考えるが、市の考えを明らかにされたい。

(2) J R 大住駅へのエレベーター設置を求める。

26年春のJ R 西日本のダイヤ改正により、大住駅の2番ホームから発着する便数が大幅に増えた。1番ホーム側改札口を利用する人も多く、エレベーターの設置を求める。

(3) 鉄道駅での転落防止柵、ホームドアなど設置の促進を。

市内の各鉄道駅に転落防止柵、ホームドアの設置を進めるよう、京田辺市として鉄道事業者へ積極的に働きかけをされたい。

## 1 北陸新幹線延伸問題について

北陸新幹線の松井山手延伸の是非によって、この街のとりわけ北部住宅地の今後が大きく左右される。北海道新幹線における談合汚職問題で鉄道・運輸機構が大きな批判に晒されているが、「田中角栄元首相の日本列島改造計画」の遺物である北陸新幹線の延伸をやめるべきではないか。一部政治家の「我田引鉄」ともいわれる悪しき伝統はもう止めるべきだ。私たちの街に新幹線は要らない。際限ない税投入でガラガラの新幹線を走らせるのはもうゴメンだと思うが、市長はどのように考えているのか。

## 2 教育委員会に問う

(1) 去る3月19日午後に、京都府教育委員会で「第1回多様な学習機会の確保の在り方についての検討会議」が開催された。府教委の動向を注視してきた市教育委員会は、会議の内容についてどのように分析し、対応するつもりか。

現在の状況や開催頻度から考えると、当該不登校生徒や義務教育未修了者が入学できる公立夜間中学ができるまでに最低3年の月日がかかると思われる。近畿唯一の空白地域とされたまま放置されている現状に対して、即刻取り得る手立てを具体的に示せ。

(2) 同志社国際高校の辺野古における死亡事故の犠牲者の冥福をお祈りする。事故の安全対策や当該校の安全管理体制については批判されて当然である。しかしながら、安全管理の問題と現地学習などを通しての平和学習の問題は分けて考えるべきである。平和学習は今後も続けられるべきだし、国や府の学校や学校法人への教育介入は決して許されるべきではない。市教委の見解を示せ。

- (3) 北海道や東北、東京多摩地区や長野県などで熊の被害が聞こえてきている。  
引き続き熊への対策が必要であるが、学校やウッドデザインパークなどの関連  
公共施設に熊スプレーや鈴、ホイッスル、さすまたなどを配備し、訓練をする  
べきだ。

### **3 高齢者サービスの充実**

- (1) サポートカー、シニアカーに補助をつけるべきだ。  
(2) 路線バスを利用しやすくして運賃補助を充実させるべきだ。

### **4 北部地域の諸問題について**

- (1) 大住駅周辺の安全を。  
ロータリーがなく送迎の車が私有駐車場などに侵入して危険だ。また、無人駅化  
しているので治安やゴミ処理なども大きな問題だ。

**1 女性用トイレや多目的トイレへの生理用品の設置について**

(1) 衛生的に安心して学校生活ができる環境の整備は重要である。トイレトペーパーの設置と同じように、小・中学校の女性用トイレや多目的トイレに生理用品の設置について問う。

この間の議会答弁で「試行的設置を3月までやって検証して課題などを整理していく。今年度中に方向を見定めて4月に校長会で協議し、1学期中には残る2校についても設置に向けていきたい」とされていた。その後の進捗について問う。

(2) 女性の人権を守り、ジェンダー平等を推進する立場で、公共施設の女性用トイレや多目的トイレにもトイレトペーパーと同じように生理用品の設置を求める。市の考えを問う。

**2 安心して子どもを産み育てるまちづくりについて**

(1) 市内で分娩できない状況が、現在生じていると聞く。市内の産婦人科の現状と対策について問う。

(2) 新生児の健康診断や予防接種体制への影響について問う。

(3) 河原こども園の受け入れ状況と入所基準について問う。

(4) 子育て支援センターの現状と改善について問う。

**3 誰もが安心して受けられる介護、障がい者サービスについて**

(1) 訪問介護・看護についての現状と対策について問う。

(2) 障がい者支援の中に移動支援があるが、介護保険サービスにはない。移動（買い物・通院付添等）の公的支援の検討を求める。市の考えを問う。

#### 4 近鉄新田辺駅東側地域のまちづくりについて

- (1) 歩いて買い物に行けるところにあったスーパーがなくなり、高齢者や障がいをお持ちの方などからも不安と店舗誘致への要望の声があがっている。改めてこの地域の整備と活性化が急がれるが、整備の進捗と駅東地域のまちづくりへの市の考えを問う。
- (2) 幹線道路旧307号「新田辺草内線」の新田辺駅から田辺高校までの道路拡幅と歩道整備の進捗について問う。
- (3) 土手や河川敷、空き地などで特定外来生物に指定されている「オオキンケイギク」等が、昨年よりも増殖している。市としての今後の対策を問う。

**1 留守家庭児童会の対応について**

留守家庭児童会の民営化移行のタイミングで昨年度は松井ヶ丘留守家庭児童会の実施内容が拡充され、今年度はさらに4児童会が民営化となり、保護者からは実施内容が拡充されると期待する声をお聞きしている。その準備状況等や今後の取り組みについて問う。

- (1) 今年度から拡充された4児童会について、長期休みに開始時間を繰り上げて、保護者の出勤よりも早く留守家庭児童会の預かりを開始することによる「小1の壁の解消」、および「お弁当対応」の実施予定を問う。
- (2) 留守家庭児童会の民営化による実施内容の拡充が、今年度に5児童会までされたところであるが、速やかに残りの留守家庭児童会にも拡充すべきと考えることから、今後の留守家庭児童会の計画を問う。

**2 通学路の防犯カメラ設置の拡充について**

本年3月に南丹市立園部小学校に通う男子児童の通学に関連した行方不明からの殺人事件が発生し、通学における犯罪や事故に巻き込まれることへの不安が大きくなっている。通学路における防犯カメラの重要性を訴える保護者や市民の方の声を多数お聞きしていることから、以下2点を問う。

- (1) 通学路における防犯カメラの設置実績台数と設置状況、および今後の設置計画を問う。
- (2) 現在でも集団での登校・下校ではないことが多い状況である。特に下校時は単独での場合が多く、また、校内支援センターに行く児童生徒は一人で登下校をする場合がある。犯罪や事故に巻き込まれることを防ぐため、更なる防犯カメラの拡充をすべきと考えるが、市の見解を問う。

### 3 ウッドデザインパーク京都一彩ーについて

旧京田辺市野外活動センターをリノベーションし、今年の5月23日にグランドオープンを迎えた。運営を民間活用することで、これまでの取り組みが変化する内容もあると考える。令和4年には市議会総務常任委員会からの所管事務調査報告書で「野外活動センターの今後のあり方について」を市に提出し提言を行った。その活用を含め、市の財産であるこの施設が、どのように再整備し運営するかを問う。

- (1) 旧京田辺市野外活動センターをウッドデザインパーク京都一彩ーにリノベーションした目的・背景について問う。また、以前は利用料収入に比べ事業費などの経費が上回っていたが、その対策について問う。
- (2) 令和4年の総務常任委員会からの所管事務調査報告書の調査内容、および15項目の提言をどのように取り入れたのか、状況を問う。
- (3) 旧京田辺市野外活動センターでは、青少年の健全育成と市民の余暇の活用を図る目的で市の直営で運営を行っていた。今年度からの新施設運営においては、それらがどのように継承されているか、市の見解を問う。

### 4 電話による詐欺や予兆電話への対策について

全国的に特殊詐欺被害や匿名・流動型犯罪が多発している。

本市では、広報誌での詐欺防止のための注意喚起記事の掲載や、令和2年度から65歳以上の高齢者向けに録音機能付き固定電話機の購入補助金制度を実施するなど、詐欺防止に有効な施策を具体的に実施していることを評価する。

特殊詐欺や匿名・流動型犯罪などに巻き込まれる糸口として、固定電話や携帯電話にかかってくる予兆電話や詐欺電話が関係し、その約7割が国際電話からかかってくると言われており、さらなる対応をすべきと考えることから、市の取り組みや認識を問う。

- (1) 録音機能付き固定電話機の購入補助金制度について、これまでの実績および活用状況を問うと共に、今後の取り組みを問う。
- (2) 携帯電話にかかってくる国際電話や詐欺電話をブロックするための警察庁推奨アプリを、広く周知し市民に活用してもらい取り組みが必要と考えるが、市の認識を問う。
- (3) 携帯電話における警察庁推奨アプリのダウンロードからインストールや設定等の手助けをするイベントを警察と連携し、定期的に市役所等で開催してはどうか。

**1 新田辺駅東側**

- (1) 1979年に都市計画決定された駅前広場。50年近く経過してもなお、全く具体的前進が見られない。また、2017年に地権者に呼びかけて発足させた「まちづくり準備委員会」の動きも同様である。現状についてと今後の方針についてを問う。
- (2) この地域を開発しようとする業者によると、高さ制限が開発のネックになっているという。また、「急行が停車する駅前」という利便性の良さを、市としてもっと活かしていくべきという意見も聞く。市の認識を問う。

**2 住民の高齢化が進む集合住宅の課題**

- (1) 住民の高齢化が進む集合住宅の現状と課題について、市の認識を問う。
- (2) 高齢化の進行は、ごみ問題、孤独死、空き家化が増加し、防災面での課題も顕著となる。さらに、その結果として治安の低下を招くおそれもある。対策が求められると考えるが、市の見解を問う。
- (3) 分譲マンションにおいては、管理組合の担い手不足、修繕積立金不足、人件費や工事費の高騰により、マンションの管理運営や大規模修繕が困難になるなどの課題がある。最近では、管理会社の撤退もあると聞く。このことは、個人資産の問題にとどまらず、周辺地域へ一定の影響を及ぼすことになる。市の認識を問う。
- (4) (2) (3) の課題を踏まえ、市が相談の窓口を設けるなど、管理組合を支援する仕組みをつくっていく必要があると考える。市の見解を問う。
- (5) また、若い世代が流入しやすいように、リノベ補助をおこなったり、空き家バンクとの連携をはかっていくことも重要であると考え。併せて市の見解を問う。
- (6) マンション居住者の中から民生委員を。

### 3 3月議会から見えてきた課題

- (1) 失語症患者の方は、やはり当事者向けサービスについて全く知らない状況におられることが明らかになった。意思疎通支援者派遣事業があること、各地域に失語症者の集まりの会があることなど、市が積極的に情報を提供していくことを求める。
- (2) 資源ごみの持ち去りについては、ごみ置き場から持ち去る本人だけを罰しても問題解決にはならない。問題はその先、つまり持ち込み先にある。対策を求める。

### 4 職員待遇や業務のあり方

- (1) 配偶者の海外赴任に伴う同伴休職制度の創設を。
- (2) 人材派遣を利用している課、業種の数について問う（長期、短期別）とともに、契約書の結び方、履行のあり方の改善を求める。
- (3) これまで管財課で一律にまとめていた入札が、一部原課対応になった。そのことにより、業者の間で混乱が起きていると聞く。市の認識を問うとともに、改善策を求める。

**1 京田辺市の農業政策について**

- (1) 気候変動による食料生産の不安定化、世界的な人口増加等に伴う食料争奪の激化、国際情勢の不安定化など食料需給のリスクに対応するため、令和6年6月に食料・農業・農村基本法の改正が行われた。食料安全保障の確保を基本理念の柱と位置付けられ、具体的施策が示されたが、市はどのように認識しているか。
- (2) 令和8年5月20日、食育基本法が改正された。これにより、食育が健康増進のためだけでなく、食料安全保障の確保に資するものと定義された。「大人の食育」の強化と農林漁業教育の推進、そして食品ロスの削減、環境に配慮した農林水産物の選択の促進などが掲げられ、食を取り巻く環境が大きく変わろうとしているが、市の見解は。
- (3) 農業委員会とは、市町村に設置されている行政機関であり、その役割は、農地法に基づく農地の権利移動の許可や転用へ意見具申、農地等の担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止、新規参入の促進など幅広い業務を行うことである。農業委員会について、農政課との連携も含めて、その役割について市の見解は。

**2 生涯学習、社会教育の推進について**

- (1) 令和8年度は、第3次京田辺市生涯学習推進基本計画の見直しの年となっているが、どのように進めていくのか。

- (2) 令和6年6月に地域課題の解決方法の一つとして、社会教育士などの地域コーディネーターの配属を求めたところ、「人と人を繋ぐ地域のコーディネーターの役割が重要。生涯学習推進協力員制度の見直しを行った。生涯学習活動を積極的に行っておられる方などに生涯学習推進協力員を担っていただくことで、地域の生涯学習活動の活性化に繋げていきたい」との答弁があった。その後の進捗を問う。
- (3) 地域では、多くの市民が多様な活動をされているが、それぞれの情報が点在しており、わかりにくい。市民活動やボランティア活動、人材バンクなど、地域で課題解決に向けて活動されている方々が一目でわかるように、一覧にするなどして発信・周知することが望まれるが、市の見解は。

### 3 一人ひとりが大切にされる社会を目指して

- (1) 地域共生社会の実現に向けて、社会福祉法の改正により「重層的支援体制整備事業」が令和3年4月に創設された。そこで以下を問う。
- ア 京田辺市では、令和9年度からの本格実施に向け、重層的支援体制整備事業のプレ実施として「京田辺たなごころプロジェクト」が始まっているが、その具体的内容と今後の取り組みについて問う。
- イ 取り組みを進めるにあたり、社会福祉協議会とはこれまで以上に連携が必要になると考えるが、市の見解は。
- (2) 本市の人権施策について以下を問う。
- ア LGBT等の性的マイノリティの方々が自分らしく生きられる社会の実現を目指すことを目的に、令和8年2月からパートナーシップ宣誓制度を開始した

が、その後の利用状況や市民の反応などについて問う。

イ ヘイトスピーチ解消法「（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）」に基づき、令和2年2月に「京田辺市公の施設等におけるヘイトスピーチ防止のための使用手続に関するガイドライン」を策定しているが、実際に起こった時のための想定などは行っているのか。

ウ 日本国憲法や世界人権宣言等を踏まえ、人権の尊重と差別の解消に関して、自治体や住民等の責務や役割を明らかにした条例を制定している自治体が増えている。本市でも、「人権の尊重と差別の解消に関する条例」が必要と考えるが、市の見解は。

**1 本市の今後のまちづくりについて**

- (1) 都市計画道路大住草内線について、会派として令和8年度からの工事着工に向けて要望をしてきた。現在の進捗状況と財源の確保の状況等について問う。
- (2) 今後、大住草内線の第2工区以外にも複合型公共施設の整備や防災広場の2期目の整備といった大型事業などが予定されている。財政的に厳しい状況が今後も続くことが予想されるが、本市の持続可能な都市経営、自主財源の確保をどのように進めていくのか問う。
- (3) 本市では今年、63年ぶりに人口減少が起こった。人口ビジョンでも近い将来、人口が減少していくフェーズに入っていくことが予想されている。本市として今までと違った施策の展開が必要となっていくと考えるが、市としての認識を問う。

**2 防犯力の強化について**

- (1) 昨年末には、本市北部で空き巣被害が相次いだ。しかし、その際、地域にその情報などが十分に浸透していない状況であったと感じるが、市の認識は。
- (2) 情報共有による警察等との連携を図り、市民に発信を行い、市としての防犯意識の向上などの取り組みも必要になってくると考えるが、市の認識を問う。

**3 ワールドマスタースゲームズ2027関西について**

- (1) 本年5月にワールドマスタースゲームズのプレ大会が開催された。このプレ大会を通じて、来年5月の本大会に向けた市の認識について問う。

(2) ワールドマスターズゲームズの大会理念には、参加者同士や地域との多世代、多文化交流の促進が謳われている。

来年5月のワールドマスターズゲームズ2027関西では、本市においてどのような取り組みをしようと企画を進め、地域との交流を図っていこうと考えているのか問う。

#### 4 公園遊具の長寿命化対策について

(1) 昨年一般質問の際、総合公園である田辺公園花見山における複合遊具の一部が度々使用禁止になっている件について取り上げ、遊具の更新について要望した。その際、令和8年度に更新を考えているとの答弁であった。

今後のスケジュールについて問う。

(2) 田辺公園花見山においては、複合遊具以外の大型遊具についても、更新時期が近いのではないかと考えるが、全体的な整備方針について市の認識を問う。

(3) 総合公園だけではなく、近隣公園や街区公園も含め、市が管理するすべての公園における遊具の更新方針について市の認識を問う。

**1 日本版DBS（こども性暴力防止法）について**

- (1) 日本版DBSの対象となる職種を明確にする必要があると考えるが、市の考えは。
- (2) 児童・生徒対象の性暴力等の防止等のため、教員に対する研修の実施や児童・生徒が相談しやすい窓口の設置など、具体的な取り組みは。
- (3) 学校内への防犯カメラの設置を進めるべき。

**2 防災・減災対策について**

- (1) 公共施設のエレベーター内に、地震や故障で閉じ込められた際に、復旧を待つための飲料水や非常食、簡易トイレなどを収納する防災チェア・防災キャビネットなどの設置をすべき。
- (2) 妊産婦・乳幼児の「専用避難所」の設置を考え、避難所運営訓練にも取り入れるべき。

**3 熱中症予防対策について**

- (1) 学校等の対策について。
  - ア 保冷グッズを下校のために冷やす冷凍庫の設置を。
  - イ 冷水器の設置を考えるべき。
  - ウ 日傘の貸し出しをすべき。
- (2) クールスポットの充実・拡充のため、統一ののぼりやポスターなど、市民が認識しやすい取り組みを。
- (3) 市役所前（国道307号に面した場所付近）に、デジタルなどの温度計・湿度計の設置を。

**4 介護予防のため、高齢者の元気をささえる施策について**

- (1) 高齢者が利用できる施策をもっと市民に周知すべき。
- (2) 高齢者が利用できる施策の充実・拡充をすべき。

**1 「スポーツのまち」の資産を活かした体験型ふるさと納税返礼品の開発と、スポーツ合宿誘致による関係人口の創出について**

- (1) ふるさと納税返礼品において本市ならではの強みを活かした独自の返礼品（コト消費・体験型）の開発状況と今後の方向性について問う。
- (2) 本市には、同志社大学の充実したスポーツ施設や、公・民の豊かなスポーツインフラが存在する。これらを活用し、全国の大学や実業団、少年スポーツクラブ等をターゲットにした「スポーツ合宿優待（施設予約権、市内宿泊・飲食クーポン等のセット）」をふるさと納税の返礼品に加える、また現在進められている田辺北地区の新市街地整備におけるホテル誘致などとも連動させ、受け入れ環境の強化を今から見据えるべきと考えるが、市の見解を問う。
- (3) スポーツ合宿の誘致は、宿泊・飲食等による経済効果だけでなく、本市の学生や地域住民との交流を生む好機であると考え。合宿団体と本市民のための「文化部同士の交流（吹奏楽やダンス等の披露・交歓）」の場を設けるなど、本市ならではの工夫で関係人口を創出すべきである。大学などの関係機関、市内事業者、観光協会等と連携したプラットフォームの構築について、市の見解を問う。

**2 高校授業料無償化に伴う府立高校「地域割り」の弊害と、本市における子育て・教育環境への影響について**

- (1) 「私立無償化」と公立「地域割り」の矛盾について、無償化で私立へ生徒が流出する中、公立にのみ「地域割り」の規制を残すことは、受験生の選択の自由を奪い、公立の魅力を削ぐ原因になっていると考えるがどうか。

- (2) 大阪府などの先進的な教育施策と比較し、将来的に本市が子育て世代の転出・転入抑制という不利益を被るリスクをどう捉えているか。また、府に対し「地域割りの撤廃」や「独自の財政支援」を要望する考えはあるのかを問う。
- (3) 試験の一本化や複数校スライド選考など、大きな入試制度の激変に対し、本市内の受験生や保護者が情報格差で不利益を被らないよう、本市中学校におけるサポート体制をどう構築するのかを問う。

### **3 高齢化が進む府営田辺団地と周辺地域の不安に寄り添い、若者と学生で未来をひらくまちづくりについて**

- (1) 府営田辺団地および周辺地域における高齢化と空き室問題への認識について問う。
- (2) 府の公民連携制度の活用と、市がコーディネーターとなる「逆提案」について問う。
- (3) 部局の垣根を越えた「田辺団地周辺地域・温かいまちづくり計画」の策定と市の見解を問う。